

編集後記

中村学園大学 流通科学研究室 主任研究員

佐原 寛二

流通科学部として学部の新設を開始する時から、大学院を設置しようという計画があった。それでも学部の設置がまず第一であることからそれ以上の計画は時期尚早で語られなかった。学部の開設後3年ほどたち、大学院が設置できそうな期待の中で研究所を開設したいという計画が立ち上がってきた。中村学園大学では中期5ヵ年計画を作成してこの計画に研究所の設置計画を盛り込んだ。平成18年度～平成22年度の計画に平成18年度に流通科学研究室を設置し平成20年度に流通科学研究所を開設するとした。

その内容の一部を紹介すると平成19年度から個人研究費の一部を原資としてプロジェクト研究を立ち上げる。流通の研究と教育の統合に向けた共同研究計画の推進、『流通科学研究』の継続的発行と国内外教育研究機関との情報交換の推進を行う。この流通科学研究は学部の機関誌で年2回の発行が定着した。そこで今回、研究所の機関誌として新たにこの『流通科学研究

所報』の発行に踏み切ったものである。

流通科学研究所報の発行に関しては平成17年に準備委員会を設置して活動内容を検討した。流通ビジネスモデルの開発を通して地域社会貢献を推進する。東アジアにおける食の流通と食の安全性に視野を向けた研究を柱とする。受託研究の推進、流通ビジネスモデルの開発と開発成果の事業化、ベンチャー企業の育成などと盛りだくさんである。平成21年度には文部科学省の教育支援プロジェクトへの応募を計画している。

このような計画のもとに今回流通科学研究所報の創刊号を発行することになった訳である。立ち上がりのレポートであるので統一された形式やレポートの内容になっていない感は否めないが、継続的に発行することによって独自の意義ある報告書として社会的評価を受けるよう研究所所員一同努力していきたい。また内容につき忌憚のないご意見をいただければ幸いである。